

みんなの活動だより

発行: MISHOP 広報部会

2025.7

90

国際交流ウォークラリーに外国籍市民 38 人参加

新緑の三鷹を歩く「国際交流ウォークラリー2025」が5月18日（日）に開催されました。中国、台湾、米国、韓国、英国、ウクライナ、カナダ、オーストラリア出身の外国籍市民38人と杏林大学生ら日本人ボランティアが多数参加しました。

ウォークラリーは初対面の外国籍市民と日本人がチームを組んで、道順のヒントが記号で書かれた地図を読み解き、13か所でクイズに回答して、ゴールを目指します。今回は9つのチームに分かれて、スタート地点の京王井の頭線井の頭公園駅前からMISHOPまで約4キロのコースを歩き、クイズの正答率やあらかじめ設定した隠しタイムとの誤差などを競いました。全チームがゴールした後、上位入賞チームなどの表彰式が行われました。

Foreign and Local Residents Participate in the MISHOP International Walk Rally

“The MISHOP International Walk Rally 2025” was held on Sunday, May 18, in the verdant Mitaka neighborhood. Thirty-eight foreign residents from Australia, Canada, China, South Korea, Taiwan, Ukraine, the U.K., and the U.S.A, as well as many Japanese volunteers, including Kyorin University students, participated in the event. Nine teams walked from Inokashira Park Station on the Keio Inokashira Line to MISHOP, a roughly 4 km distance.

【感想シートから Comments from the impression sheets】

外国籍市民 Foreign participants

- Great! I enjoyed the fellowship and learned active local history. (米国)
- This event was fun. There were a few pictures on the map that were a bit hard to follow (but I guess that is a part of the challenge) Thank you for organizing it. (カナダ)
- きょうは楽しかったです。他の国の人たちと交流する機会はほとんどありません。またこういうイベントに参加できたらいいな。(台湾)

日本人ボランティア Japanese volunteers

- 初めて会う方ばかりですが、話しながら散歩している感じで楽しかったです。答えを探すのを忘れるくらい会話が楽しくて、時には道を間違えてしまう。みなさん年も出身も違いますが、最後には仲良くなれてよかったです。
- 最初はとても緊張しましたが、みんながたくさん話しかけてくれて、楽しく話と散歩ができました。最初から道を間違えてしまっ、不安でしたが、一番に到着することができたのでよかったです。また機会があれば、ぜひ参加したいです。



あきやましんじょう む り じ 秋山新常務理事にインタビュー

4月1日付けで秋山慎一さんが常務理事に就任されました。MISHOPの印象や抱負などを聞きました。



Q MISHOPの印象はいかがですか

A これまで三鷹市職員として、MISHOPの活動を「広報みたか」で紹介したり、国際交流フェスティバルを手伝ったりした経験から交流イベント中心の印象を持っていました。ところが事務局に入って、MISHOPを日々訪れる人の多さに驚きました。多くの日本人ボランティアがLLJや日本語教室、子ども教室などで熱心に活動しているのを目の当たりにして、これはすごい、これが三鷹市の原動力なんだとあらためて感じています。他地域にも国際交流の組織がありますが、MISHOPのような市民主導型は珍しい。大切にしていきたいです。

Q 初めてのイベントとなったウォークラリーのご感想は

A 様々な国籍の人たちが身振り、手振りで意思の疎通を図ろうとしながら楽しんでいて、相互理解につながる良い企画だと思いました。このイベントもコース設定からクイズ作り、表彰式まで、ボランティアが大活躍でした。

Q 三鷹市とのかかわりは

A 小学3年の時に一小に転入して、六中の一期生として卒業。1987年に三鷹市に入庁して水道部を皮切りに、広報に合計約10年いたほか、福祉、企画経営、教育委員会、情報システム、ネットワーク大学など様々な部署に在籍しました。直近は児童福祉と高齢者福祉を担当していましたので、今も福祉目線とらえがちで「支援」に関心があります。

Q 今後の抱負などをお聞かせください

A 外国籍市民の登録会員数はコロナ前に戻ったのですが、日本人会員が戻っていない。コロナによる活動休止、高齢化などの影響だと思いますが、このままだと外国籍市民の要望に十分に答えられません。日本人会員をどうやったら増やせるのかが課題です。

また外国籍市民のニーズも時代とともに変わり、多様化しています。どこまでMISHOPが担っていけるのかも課題です。まずは現状を把握して、MISHOPとして何ができるのかを考えていきたいです。

Mr. Shinichi Akiyama assumed the position of Executive Director as of April 1, and we asked him about his impressions of MISHOP and his aspirations. Mr. Akiyama remarked, "I am impressed to see so many Japanese volunteers working enthusiastically every day in Japanese language classes and children's classes."

「みんなの活動だより」の制作は広報部会が担当しています。部員は森田義一さん、木村真次さん、宮川和久さん、山田優子の4人。取材と写真撮影、編集制作を手分けしています。ジャン・プレグンズ理事が英文をチェックしてくださっているほか、国際理解講座のレポートや国際交流フェスティバルの写真撮影は他の会員の方にお手伝いいただいています。

先日、編集会議を開いて、「みんなの活動だより」の発行計画について話し合いました。部員を募集中で、取材や撮影に興味をお持ちの方のご参加をお待ちしています。

The four members of the Public Relations Subcommittee are in charge of reporting, photography, and the editorial production of "Minna no Katsudo Dayori." Other members help with checking English texts, reporting on lectures on international understanding, and taking photos of the MISHOP World festival. We recently held an editorial meeting to discuss plans for publishing "Minna no Katsudo Dayori." We warmly await your participation in the Public Relations Subcommittee if you are interested in reporting on and photographing MISHOP activities.



国際交流フェスティバルの特設サイトが公開されました
<https://sites.google.com/view/mishop-world/>

